公明党奈良市議会議員団

まちづくりビジョン 2021

平成 30 年 11 月

私たち公明党奈良市議会議員団は、生活者の視点から、市全体の事業を選択し議論検討する中で市民生活に直結する事業を抽出し、環境、都市整備、福祉、医療、教育、伝統文化、観光、経済、行財政の分野別に優先課題を集約し「支え合う地域づくり」「魅力ある地域づくり」「安心な地域づくり」「活力ある地域づくり」の4つテーマとしてまとめ毎年度市へ予算要望してまいりました。

更に、取り組みの優先課題を政策別に精査し、特に「子ども」「若者」「高齢者」「観光」に集約し、公明党奈良市議会議員団として2021年を目指し奈良市のビジョンをお示しいたします。

ビジョン検討段階において、課題の整理を行い、進める施策の方向を示しています。また、施策を進めるうえで、充実又は創設しなければならない仕組みも論点として示しています。

このように論点をできる限り明らかにしてビジョンを作成いたし、今後、このビジョンに基づいて政策を推進してまいります。

加えて、より市民生活に密着した諸課題については、これまで取り組んできた予算要望活動を継続して課題の解消に努めてまいります。

ビジョンⅠ『子ども』　and　ビジョンⅡ『若者』

時代の変化が著しく、かつ複雑化する社会状況を背景として、生きづらさを抱える「子ども」「若者」が増加傾向にある。一人ひとりの「子ども」「若者」が夢や希望を持ち、その実現に向かって力強く生きていくために、「子ども」「若者」の発達段階で抱える生きづらさを早期に発見し、支援につなげていくことが必要である。また、その発達段階に応じた支援について、それぞれの行政部門が担当する施策の関係性、及び、関係行政機関と民間諸団体との情報共有・連携した包括的支援がもとめられる。

こういったことから、発達段階に応じた切れ目のない継続的な支援の構築を推進してまいります。

「子ども」ビジョンのポイント

●生まれてくるすべての赤ちゃんの育みをサポート

●子どもの貧困対策を強化

●子どもたちが楽しく通える学校環境の確保

●ライフステージに応じた切れ目ない支援

「若者」ビジョンのポイント

●社会参画への第一歩を応援

●生き辛さの支援

●若者が住みたくなるまちづくり

●安心して子どもを産み育てるためのサポート

✧ **認識できる課題///**

・社会全体の認識が深まることにより児童虐待が可視化され通告件数が増加していることにより対応が迫られている。

・保健医療体制の充実で発達障害の認知が深まることによりサポートを必要とする発達障がい児が増加している。

・支援を必要とする発達障がい児の増加で子ども発達センターの機能の充実が求められている。

・家庭の貧困状態の固定化が社会的課題となっている。

・貧困及び児童虐待等における親の心理的負担の増加により支援の充実が求められる。

・子どもの目線にあった、いじめ、不登校の児童生徒のケアの充実が求められている。

・発達障がいや LGBT 等に対する学校現場の理解不足の解消及び、発達心理支援の充実が求められる。

・学校教育現場の空調設備の未整備が課題である。

・こども園、幼稚園、保育園と学齢期の接続における連携不足解消が一層求められている。

✧ **進める施策の方向///**

・子ども発達センター拡充

・貧困対策における子どもの学習支援

・いじめ、児童虐待、ＬＧＢＴ、発達障害の早期認知と理解の促進

・幼児期、児童期、学齢期、若者期のそれぞれの発達段階において、切れ目ない支援を確立するための情報の共有体制の整備

・児童相談所の設置

✧ **充実させる仕組み///**

・子ども発達センターの療育の医療面を拡充

・市立奈良病院に療育を診断できる診療科目を創設

・平成 30 年度に開設された若者支援センターの活用により学齢期以降の若者に対する支援を確立

・こども園化を加速化し待機児童対策を図るとともに幼児教育と保育の両立を促進し幼児教育の充実

・民間活動団体との連携によりケアのアセスメントを推進

ビジョンⅢ『高齢者』

２０４０年ごろに高齢者人口がピークを迎えるとされています。

その中で本市としても、高齢者の方が健康を維持しながら地域において交流を図り、充実した生活を営むことができる環境創出を目指した、まちづくりに取り組んで行かなければなりません。

そのためには、まずは平均寿命の伸びに相応して健康寿命を延ばす施策を施すことが重要です。

具体的には、医療や介護におけるサービスを適正に受けることができる行政の取り組みが強く求められます。

また、核家族化が進行する中で、高齢者の方が地域における多世代の人との触れ合いを通して、生きがいを持ちながら安心し生活していける支援策も欠かせません。

そして、日常生活における不便さを解消するための施策や、戸外における通行環境の改善も健康寿命を延ばすことに繋がる重要な取り組みのひとつであると考えます。

高齢者の皆様が地域において生涯健康で生き生きと暮らしていただけるよう、様々な課題を抽出し、それを克服するための取り組みを推進してまいります。

「高齢者」ビジョンのポイント

●健康長寿人口の拡大

●いきがいを持てる生活の応援

●支え合うまちづくり

●行き届いた生活支援

●安心して介護を受けられる体制の充実

●外出しやすい環境と心のバリアフリーの推進

✧ 認識できる課題///

・平均寿命は全国平均に比べて長いが健康寿命は短い。

・健診率も全国平均に比べて胃がんと肺がんが特に低い。

・特定健診受診率の市内地域間差が生じている（33.1%～14.1%）。

・現役を退いた元気な高齢者の働く場が少ない。

・核家族化により近所づきあいが希薄化している。

・ゴミ出し、買い物、家の掃除等の日常生活家事が十分出来ない高齢者世帯が増加している。

・災害時に避難しやすい環境が整っていない。

・介護認定に要する時間が長い。

・介護認定結果にバラツキがある。

・居住系介護サービスの待機者が解消されない。

・介護に要する費用負担が増加している。

・年齢と共に自力での移動が困難になる（駅の階段、歩道の段差等）。

・地域活動における万年青年クラブ等活動参加が減少している。

✧ 進める施策の方向///

・本市の健康寿命の実態について掌握

・健診受診率の向上

・がん教育の推進

・喫煙率の低下を推進

・世代を超えた多様な活動や交流の場の提供

・核家族化の抑制推進

・日常生活支援の充実

・市内避難所の偏在性の解消により災害弱者が避難しやすい環境を整備

・介護認定事務の標準化による介護認定に要する時間短縮及び認定精度の向上

・バリアフリー化の更なる推進

✧ 充実させる仕組み///

・胃がん・肺がん健診の受診状況に即した受診勧奨制度の創設

・小学校高学年・中学・高校において年数回程度でがんについて学ぶ機会の創設

・医師の処方による禁煙プログラム受講への補助制度の創設

・介護認定作業の標準化に向けた介護認定調査担当員の研修プログラムの創設

ビジョンⅣ『観光』

奈良市は国際文化観光都市であり、重要な経済基盤でもある観光産業の振興の充実に向けた施策を一層推進しなければなりません。

今後の３年間、国内では、世界的なスポーツイベントが開催されることにより多くの外国人が訪れ、本市においてもかつてない観光活性化の期待が想定されます。しかし、これらのイベントを一過性のものに終わらせることなく更なる活性化を進めるため、リピーターを創出する新たな仕組み作りに取り組む必要があります。

奈良市観光の現在の課題は、国内及び海外の観光客は、増加傾向にあるものの、リピーターの拡大や、本市における魅力ある本物の文化を地域全体で発信することが必要であると考えます。

このような課題を踏まえ、奈良市観光のさらなる活性化の取り組みを推進してまいります。

「観光」ビジョンのポイント

●年間１８００万人が訪れる観光政策

●常に新たな観光スタイルを提供

●交通渋滞を解消

●女性や若者に魅力的なコンテンツの創出

✧ 認識できる課題///

・滞在時間が短い。

・奈良公園周辺の交通渋滞が常態化している。

・奈良ファンのリピーターの拡大が出来ていない。

・県と市の施策の連携が不十分である。

・奈良市民の地元愛の広がりが不十分である。

✧ 進める施策の方向///

・国内観光客再訪の頻回度を向上

・朝型観光の新しい施策の推進

・CO2 削減の啓発活動の充実

・観光客に向けた安心・安全な環境整備

・富裕層とりこみ対策の充実

✧ 充実させる仕組み///

・世代のニーズに応じた奈良の魅了あるコンテンツの発信

・観光客層をターゲットにした新しい観光ルートの推進

・富雄丸山古墳を中心とした西部地域の新しい観光の活性化